



Kobe University
Anniversary Concert

Sunday. 27th May 1951 A.M. 10.00
at the Auditorium of Yamate girls' high school

Kobe University Music Society
Shyoin High School Fellowship Chorus

曲 目

(第一部)

1. 邦 楽 神戸大学邦楽部
2. 混声合唱 淳 声 会
指揮 上 野 伊太郎
 - (1) 蜂 ドイツ民謡
 - (2) マリー・リウ ワグナー
 - (3) ひばり メンデルスゾーン
3. マンドリン合奏 神戸大学マンドリン・クラブ
指揮 杉 原 俊 寿
 - (1) ア サ ブ ベレンニー
 - (2) グラナダ ガ ル チ
 - (3) おゝ、スザンナ フオスター
 - (4) 山 嶽 詩 サルベッティ シモーネ
 - (5) マンドリン四重奏 (勝利者への栄光、スペイン狂想曲)
4. 男声合唱 神戸大学グリー・クラブ
指揮 横 山 昭
 - (1) 三疋の蜂 ト ル ー ン
 - (2) ロック、ローモンド スコットランド民謡
 - (3) バイカル湖 ロシヤ民謡
 - (4) か ズ し ニグロ靈歌

曲 目 解 説

一、子供の領分 ドビュッシー

一九〇八年の作で彼の印象主義的筆法の最も円熟した作品である。

全体は次の六つの小曲より成り、いずれも子供の美しい夢の多い世界を簡単な技巧の裡に完璧と云われる迄に表現されている。この様に子供の世界に理解を持った美しい藝術はない、それは夢と現実と詩と生活との快い交錯である。

(1) 「アラドウス・アド・バルナツスム博士」

面白くもない教則本の勉強を強いられた子供の姿、突然の停止や睡氣に襲われたような緩急が遊び度い心で一杯の子供の小さい抗議を思わせる。

(2) 象の子守唄

子供の手には大き過ぎるフェルト製の象を抱きて子守唄を歌っている幼児ジンボー、眠って行くのは象よりも彼女自身なのだろう。

(3) 人形へのセレナード

ギターの音色をまねた、じよ情的なアクセントを持った可憐な小曲

(4) 雪は踊っている

(5) 小さな羊飼

(6) ゴリウオツケのケーク・ウオーク

一、ピアノ協奏曲二十三番 イ長調 モーツァルト

モーツァルトは一生の間にピアノ協奏曲を二十五曲作つたがその中でこの曲は最も有名であり最も華麗で、様式の最も完成された最高傑作と云われる。

当時の彼の生活は貧困の為悲惨なものであつたがこの曲は、苦難の生活を超越して湧き出た驚くべき樂興の流露さ、至上の幸福への探求を表わしたもので稀有の神品とも云えましよう。

第一樂章 アレグロ 二つの主題より成りピアノソロが美しい

アラベスク風の樂句を奏でる

第二樂章 アンダンテ シンリヤ舞調のリズムの主題より成り

結尾部は極めて神秘的なニュアンスを湛う

第三樂章 プレスト前樂章と著しい対象をなし輕捷な歩みの中に類いなき歡喜を歌う

5. 管 絃 楽

神戸大学オーケストラ部

ピアノ独奏 広 岡 洋 子

指揮 千 葉 修 二

(1) ガ ボ ッ ト

バ ッ ハ

(2) ロザムンデ舞曲

シユーベルト

(3) ピアノ協奏曲 23 番 イ長調

モーツァルト

ア レ グ ロ

ア ン ダ ン テ

ブ レ ス ト

6. 合唱と管絃楽

松蔭高校フエローシップ・コール

神戸大学グリーン・クラブ

伴奏 神戸大学オーケストラ

指揮 寺 本 康 郎

(1) 流 浪 の 民

シユーマン

(2) ハ レ ル ヤ

ヘ ン デ ル

学 術 書
教 科 書
新 刊 書
諸 雑 誌

株式
会社

南天莊書店

本店 省線六甲道駅上ル

電話御影 5725

支店 阪急六甲駅上ル